

公共工事等における新技術活用システム
事後評価結果通知書

国部整施企第143号
令和3年2月9日

株式会社 ノブハラ 殿

国土交通省
中部地方整備局長 堀田 治
(公印省略)

新技術活用評価会議における評価の結果を様式V-5のとおり通知します。なお、評価結果についてはNETISに掲載します。

記

1. 技術名称： スクリューメッシュ
2. NETIS登録番号： CG-140013-A
3. 評価結果： 様式V-5のとおり
4. 継続調査等の必要性について： 継続調査等を必要としない
5. その他： この結果に基づき、当該技術のNETIS登録番号・情報種別記号は「-VE」に変更され、掲載期限が当初にNETIS登録した翌年度の4月1日から起算して10年を経過した日まで延長されます。
また、今後の活用効果調査、事後評価は実施されません

異議申し立てについて

上記について異議がある場合は、事後評価結果を通知した日の翌日から起算して10日以内に整備局長あてに異議理由を明示した書面を提出することにより、異議申し立てを行うことができます。

(提出先)

国土交通省中部地方整備局
新技術活用評価会議事務局

活用効果評価結果

公開版

令和2年度

中部地方整備局 / 新技術活用評価会議

N E T I S 情 報	開発目標	経済性の向上、作業環境の向上、省資源・省エネルギー																												
	新技術登録番号	CG-140013-VE	区分	材料	有用な技術の位置づけ	なし																								
	分類	コンクリート工 - コンクリート工 - 溶接金網設置																												
	新技術名	スクリューメッシュ																												
	比較する従来技術(従来工法)	溶接金網(ワイヤーメッシュ)																												
	新技術の概要及び特徴	素材の断面積形状の工夫・ねじり構造により、製品の軽量化・付着強度を向上させた溶接金網です。																												
活用効果評価	所見	【優れていた所】 ・1枚当たりの重量を軽減したことで、現場内搬送手間およびハンドリングが改善され施工性が向上するとともに、材料の軽量化に伴うコスト削減も図られている。																												
	次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	活用調査及び活用効果評価を継続する技術としての選定要件にあてはまらないため継続調査は実施しない。 よって、情報種別記号「-VE」とする。			項目の平均(点)と従来技術(従来工法)(点)の比較																									
	留意事項	・該当なし																												
	活用効果調査表における改良点及び要望	該当なし																												
活用効果調査結果	対象工事	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>水路工事</td> <td>(従来技術 溶接金網(ワイヤーメッシュ))</td> <td>施工者選定型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>護岸補修工事</td> <td>(従来技術 溶接金網(ワイヤーメッシュ))</td> <td>施工者選定型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>歩道整備工事</td> <td>(従来技術 JIS3551溶接金網(ワイヤーメッシュ))</td> <td>施工者選定型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>トンネル工事</td> <td>(従来技術 溶接金網(ワイヤーメッシュ))</td> <td>施工者選定型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>災害復旧工事</td> <td>(従来技術 溶接金網(ワイヤーメッシュ))</td> <td>施工者選定型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>トンネル工事</td> <td>(従来技術 溶接金網(ワイヤーメッシュ))</td> <td>施工者選定型(契約後提案)</td> </tr> </table>					1	水路工事	(従来技術 溶接金網(ワイヤーメッシュ))	施工者選定型(契約後提案)	2	護岸補修工事	(従来技術 溶接金網(ワイヤーメッシュ))	施工者選定型(契約後提案)	3	歩道整備工事	(従来技術 JIS3551溶接金網(ワイヤーメッシュ))	施工者選定型(契約後提案)	4	トンネル工事	(従来技術 溶接金網(ワイヤーメッシュ))	施工者選定型(契約後提案)	5	災害復旧工事	(従来技術 溶接金網(ワイヤーメッシュ))	施工者選定型(契約後提案)	6	トンネル工事	(従来技術 溶接金網(ワイヤーメッシュ))	施工者選定型(契約後提案)
	1	水路工事	(従来技術 溶接金網(ワイヤーメッシュ))	施工者選定型(契約後提案)																										
	2	護岸補修工事	(従来技術 溶接金網(ワイヤーメッシュ))	施工者選定型(契約後提案)																										
	3	歩道整備工事	(従来技術 JIS3551溶接金網(ワイヤーメッシュ))	施工者選定型(契約後提案)																										
	4	トンネル工事	(従来技術 溶接金網(ワイヤーメッシュ))	施工者選定型(契約後提案)																										
	5	災害復旧工事	(従来技術 溶接金網(ワイヤーメッシュ))	施工者選定型(契約後提案)																										
	6	トンネル工事	(従来技術 溶接金網(ワイヤーメッシュ))	施工者選定型(契約後提案)																										
	参考																													
	項目	ケース番号および年度	1	2	3	4	5	6											項目の平均(点)	従来技術(従来工法)(点)										
	施工時評価	経済性	-	-	B	B	B	D												B	C									
工程		-	-	C	C	C	C												C	C										
品質・出来形		-	-	C	C	C	B												C	C										
安全性		-	-	B	C	C	B												C	C										
施工性		-	-	B	B	B	B												B	C										
環境		-	-	C	C	C	C												C	C										
その他																														
総合評価点	-	-	C	C	C	C													C											
今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか	今後是非活用したい	66%		17%		17%		0%		場合によっては活用することもある		技術の改良を強く望む		各項目における判定																
		A		B		C		D		従来技術より極めて優れる																				
		B		C		D		従来技術より優れる																						
		C		D		従来技術と同等																								
		D		A		B		C		従来技術より劣る																				
追跡調査の必要性	不要																													
追跡調査	-																													